



笹小だより

No. 5



平成28年8月29日
横浜市立笹野台小学校

苦難困難は砥石

校長 倉岡 ナオミ

長い休みが終わり、学校に子供たちの元気な声が戻ってきました。この夏も暑さが厳しく、子供たちの健康が心配されましたが、元気そうな笑顔を見て、一安心いたしました。

休みに入ってから、地域のミニバス・ソフトの大会や区・市の水泳大会、地域のお祭りでのソーランの演技などいろいろな場で子供たちは活躍していました。暑さに負けず、元気一杯、頑張る姿に、私たちも元気をもらいました。

今年はオリンピックイヤーで、選手の活躍に大喜びしたり、涙したり、いろいろな感動があったのではないのでしょうか。やはり、努力を重ねて自分を磨き、精一杯、力を出して頑張る姿は本当に素晴らしいものだと思います。この舞台に立つまでには、それぞれに苦難困難があったことでしょう。しかし、諦めずに、夢に向かって努力を続けたからこそ今の姿なのです。

私たちは何のために生きているのでしょうか。いろいろな考えはあると思いますが、自分だけの楽しみのためならば、とてもさみしい気がします。人生の中で数々の問題に出会い、それをいろいろ考えて、乗り越えたり、解決したりすることで、自分というものを高めていくことに大きな意味があるのではないかと考えます。そして、自分が頑張っていることが、他の人のためになったり、社会の役に立ったりすること、ひいては、周りの人を幸せにすることにつながっていくのではないかと思います。選手たちは、日々の努力によって素晴らしい姿を私たちに見せることで、やればできること、諦めないこと、困難に打ち勝つこと、そして多くの感動や勇気・元気を与えてくれました。そのことは、少なからず、子供たちの未来にも影響を与えたはずで、これからはいろいろな苦難困難が起きてくることでしょう。しかし、それは自分を高めるために、自分を磨くために与えられた砥石と考えて、立ち向かっていってほしいと思います。無限の可能性を秘めた子供たちです。磨き出されたときにどんな光を放つのでしょうか。とても楽しみです。次のオリンピックは2020年、東京です。子供たちはどんな姿でその時を迎えるのでしょうか。どういう場においても、笑顔いっぱいの姿であることを願わずにはられません。

さあ、前期の終了まで1か月半、いよいよ、まとめの時期に入ります。まだまだ暑い日が続きそうですが、この暑さに負けず、秋に向かって一歩を進めましょう。



笹野台小学校合い言葉

元気いっぱい

やさしさいっぱい

笑顔いっぱい

心かがやく笹小キッズ

笹野台小Web

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/sasanodai/>

検索

横浜市立笹野台小学校